

Warta DAICHI

大地のジャカルタ便り



年末家族旅行

ハイライト:

家族旅行で訪れた中部ジャワでは懐かしい人々との再会、そしてさまざまな新しい出会いがありました。大地の話す言葉がずいぶん増えました。日本語、インドネシア語、英語で生活している大地の語録を紹介します。

2005年12月28日から31日までの三泊四日、家族三人でインドネシアのジャワ島を縦断する旅行をしました。大地がジャカルタに来て半年がたち、初めての観光旅行です。最初に到着したのは、ジャカルタから飛行機で約一時間、母がかつて住んでいたスマランです。空港にはイルワンおじさんが迎え

が並ぶ町を見下ろしたりして過ごしました。スマランからはサラティガを経て、アンバラワの鉄道博物館に行きました。ここはインドネシアで最初に鉄道ができたところなので、トーマスのような昔の機関車が展示されているのです。大地は屋台の風船と焼きとうもろこしにすっかり夢中で、機関車のことはあまり目に入らなかったのか、後から写真をみて興奮していました(写真下:「とうもろこしおいしい」と報告する大地)。バンドゥンガンではお豆腐工場や野菜市場に行きました。ヒンドゥー教の遺跡プランバナ、仏教の遺跡パロブドゥールを訪ねて、ジョグジャカルタに到達し、飛行機で大晦日のジャカルタに帰ってきました。あっという間の三泊四日でした。



に来てくれました。84歳のマックスおじさんは、大地と一緒にクリスマスツリーのろうそくの火をともしてくれました。70歳のエリーおばあさんは、おもちゃをくれました。大地はそれがとても気に入って「おばあちゃん、Thank you!」といいました(写真上)。母が昔住んでいた家を訪ねたり、丘の上から赤い屋根と白い壁の家



目次:

ボロブドゥールで朝日を拝む	2
伝統楽器に挑戦	2
元旦のスイミング	2
大地語、200語突破	3
「おっばい、ハービス！」	3
やっぱり男の子?	3
マイブーム	4

お馬に乗ったよ

大地は乗馬に挑戦しました。バンドゥンガンは高台にあります、そこからさらに山に登ると、グドゥンソングというヒンドゥー教の遺跡があります。山の中の遺跡が点在しているため、馬に乗って回ります。乗馬の上手なお兄さんに「おいで」と言われても怖がり

の大地は母から離れず。ただ実際に動きだすと、山道でがたがたしましたが、大地はゆらゆらと馬の動きに合わせて上手に乗っていました。



ポロブドゥールで朝日を拝む

仏教の遺跡として名高いポロブドゥールはやはり昇っておきたい観光名所です。ただ、さえぎるものもなく、日中はとても暑いのと、お土産の売り子さんの攻勢に少々辟易するところが玉に瑕です。今回は一案を講じて、日の出前にポロブドゥールに昇り、天辺で日の出を拝もうと考えました。あいにく雨季の今、朝日は望めず、次第に明るくなっていく雲と空の色から日の出を感じました。

しかし「早起きは三文の徳」とはよくいったもので、朝の清冽な空気の中に、遠く富士山のように美しい形をしたメラピ山を望み、その下に広がるやしの木や水田を眺めると、とても荘厳な気持ちに

なりました。

初日の出には一日早い、12月31日の朝でしたが、日本人の観光客もたくさんいました。この日、大地は最初から最後まで抱っこでポロブドゥールに昇って降りてきました。甘えん坊納めでした。



伝統楽器に挑戦

昇ってみるとその大きさに圧倒されるポロブドゥールですが、それを山の上から眺めるホテルがあります。今回はそこで昼食をとりました。ホテルのロビーに入ると、ジャワの民族衣装を身にまとった男性がエスコートしてくれます。大地は、大好きなくまのぬいぐるみのプーちゃんを褒めてもらったので、早速そのおじさんが気に入りました。食事の間、大地はそのぜいたくな空間で遊び、疲れると傍らで民族楽器を奏でているお兄さ

んに遊んでもらいました。家で遊んでいる木琴と同じように、こんこん撥でたたくと、いつもとは違うすずやかな金属音が聞こえてきて、大地も大満足。少々はずれた音楽(?)を悦にいつて奏でました。他のお客様、ごめんなさい。



元旦のスイミング

インドネシアではお正月は元旦の一日だけお祝いします。大晦日は紙で作ったラッパを鳴らしたりする人で町がにぎわい、それはそれは騒々しいのですが、明けて元旦は、とても静かになります。今は雨季のジャカルタですが、元旦に比べてきれいに晴れ渡りました。それに町中がお休みをしているので、工事や車の音もなく、静かで明るい元旦を迎えることができました。

NHKの海外ニュースによると、日本は寒くて大雪だったそうですね。この日、大地

は父と母と、そして遊びに来てくれた友達と、午前、午後と二回もプールに入りました。まだまだ足の届かない深いプールは怖くて、大人にしがみつながら泣いています。案外慎重な性格なのかもしれません。



大地語、200語突破

最近の大地語録から：
「父さん、おっかい。母さん、おっかい。大地、ちっちやい。」



最近言葉も増えてきた大地ですが、一体どんな言葉話しているのでしょうか。母とは日本語、ベビーシッターさんとはインドネシア語、そしてプレイグループでは英語と三ヶ国語で生活しています。試しに、大地の話す言葉を数えてみました。日本語では「父さん」「母さん」「お兄ちゃん」「赤ちゃん」と人を呼ぶときの言葉、「ぎゅうにゅう」「おみず」「ごはん」と食べ物言葉、「うさぎ」「ねこ(ちゃん)」と「アンパンマン」「トーマス」など動物や遊び仲間を呼ぶ言葉、「お散歩」「あそび」「ねんね」などやりたいことを伝える言葉、「おいしい」「かっこいい」「いたい」と気持ちを表

す言葉など約170語を話します。インドネシア語では汚れたという意味の「Kotol」。オムツや洋服がぬれた時の「Basah」などがあります。また、「これ、どこ」を表す語など生活の中でよく使う約30語話します。英語は約20語で、圧倒的に得意なのは「No」です。これは万能で、「だめ、いや、いらない」が全部「No」に入れ替わってしまいました。その他には、プレイグループで使う「Wash Hand」「Wake Up」などが得意のようです。よく使う言葉は複数の言葉で言い分けられるようです。例えば「魚」「牛乳」「ありがとう」です。大地が何が好きなのかすぐわかりますね。

「おっばい、ハービス！」

子どもは言葉を覚える過程で、面白い言葉の組み合わせを発明する名人ですよね。大地の場合は、言葉の組み合わせが日本語だけに留まらないのが面白いところです。実はまだおっばいを卒業していないころ、大地はおっばいを飲み終わると満足げに「おっばい、ハービス！」と叫ぶことがありました。「ハービス(Habis)」はインドネシア語で、「なくなった、終わった、空になった」という意味です。大地なりの組み合わせで、大

ヒットだったもののひとつです。また、インドネシア語を日本語に翻訳したのかな、と思うような言葉の使い方もあります。道で転んでも「落ちたよ」、車ががたがたして座席から落ちそうになっても「落ちたよ」というのです。これはインドネシア語の「倒れる、落ちる」を意味する「Jatuh」を日本語に当てはめているからではないか、と勝手に解釈しています。

やっぱり男の子？

ジャカルタに来たばかりのころ、大地はあやしてくれるお兄さんやおじさんが大好きで、女性に声をかけられても見向きもしませんでした。「まだ子どもだからね、大きくなったら女の人がよくわかるさ」というのはソフィアンおじさんの言葉でした。

ところが最近、「今日は誰と遊んだの？」と一日の終わりに母に尋ねられると、真っ先に「ナナちゃん」といいます。ナナちゃんは、大地が大好きなベビーシッターさんです。「それから誰と

遊んだの？」と聞くと、「メーガン、ゾーイ、エマ、モミ」とプレイグループのお友達や先生の名前が飛び出します。なんとみんな女の子の名前なのです。この写真はボロブドゥールのホテルのロビーで伝統的な遊びを紹介しているお姉さんと撮ったものです。お客さんが途切れると、大地とも遊んでくれました。最近はお姉さんのほうが好きかも、とナナちゃんもいっています。やっぱり男の子なのでしょうね。



今日も、明日も、元気印。

お便りお待ちしております！

新春特大号

Tamanpuri Setiabudi No.19
Jl. Karbela Selatan, Setiabudi, Jakarta,
Indonesia

電話 +62(21)5211519

Fax +62(21)5277409

Email: Okeikoy@aol.com



新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしいものとなりますよう、南国より祈念しております。大地がインドネシアにきてから6ヶ月がたとうとしていますが、皆様の暖かい励まして、これまで元気に過ごすことができました。

来月は大地も二歳の誕生日を迎えようとしています。これまで以上に元気に成長していってくれればと願っています。



マイブーム

【ブーちゃん】

秋に一時帰国したときに、近くの保育園祭りでゲットしたぬいぐるみです。このぬいぐるみが欲しくてルーレットを回したら、「はい10個すきなぬいぐるみを持っていいですよ」といわれて仰天。結局ブーちゃんだけ頂いてきました。お気に入りのものがあると、分けてやるほど大好きなお友達です。



マスを着ると主張し始めると聞かず、朝からこのパジャマに着がえてお出かけしたこともあります。

【招き猫】

日本にいたときからのお気に入り、招き猫のある店先では、向かい合ってまねをしていました。インドネシアでも先日バンドゥンガンのお豆腐屋さんで発見。お店の人は「重いんだけどな」といいながらも、一緒に写真を撮らせてくれました。



【トーマス】

トーマスは日本でも人気の機関車のキャラクターです。こちらのスーパーで見つけたトーマス柄の200円のパジャマ。まだ大きそうだったので、日本に帰ってから着せようかと筆筒にしまっていたところを大地が発見。早速着たがったので着せてみたところ、ご満悦の大地がウインク(?)しています。最近着るものの好みもうるさくなり、今日はトーマス